

魅力ある授業のために（単元化例） 言語文化 読むこと

1 単元の目標

(1) 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解することができる。

〔知識及び技能〕(2)イ

(2) 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。

〔思考力、判断力、表現力〕B(1)ア

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。「学びに向かう力、人間性等」

2 指導と評価の計画

科目名	言語文化	学年類型	1年	単位数	2単位	話すこと 聞くこと	
単元名	古典に見られる滑稽さについて考えよう （『徒然草』第88段）					書くこと	
単元の評価規準							
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。		「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。		郷土に縁のある本文について興味をもち、文化的背景をもとに、積極的に話し合う活動を通して、本文の主旨についての考察を深め、自らの学習を調整しようとしている。			
主たる言語活動							
古典に見られる滑稽さについて調べ、まとめる活動。							
時間	授業のねらい・主たる学習活動	重点項目			評価方法		
		知	思	態			
1	本文の滑稽さからテーマを考察し、まとめる。	○	◎	◎	・行動の観察（音読） ・行動の確認（ペアワーク） ・記述の分析（ワークシート）		
	①単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ②春日井市のマスコット「道風くん」を紹介し、小野道風について調べ学習を行う。 ③ペアで本文を音読し、全文を口頭で現代語訳する。分からない単語は辞書で確認する。 ④「ある人」が指摘した矛盾（和漢朗詠集が四条大納言（藤原公任）の撰であり、道風の書ではないこと）を理解する。 ④本文の滑稽さについて、グループで話し合う。 ⑤本文のテーマについて考察し、ワークシートに記述する。 ⑥振り返りを記述する。						
定期考査		◎					

※重点項目について、「◎」は総括の資料とするもの、「○」は、総括の資料とせず、不十分な場合は何らかの指導を行う。

3 思考・判断・表現のルーブリック

観点	評価A	評価B	評価C
<p>文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p>	<p>『徒然草』のもつ文体の特徴を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉え、筆者の意図するところにまで考察できている。</p>	<p>『徒然草』のもつ文体の特徴を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p>	<p>『徒然草』の本文について、その内容を捉えている。</p>